

平成30年度 健康福祉部の重点課題

部長名 窪田 純子

<全体方針>

・すべての市民が年齢や心身・経済の状況に関わらず尊重され、住み慣れた地域で自分らしく健康で生きがいを持ち、安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムを構築し、地域共生社会の実現を目指します。そのため、様々な課題に対し、人と人とのつながりの中でお互いに助け合えるよう、自助・互助・共助・公助の視点を持ち、地域コミュニティ、事業者、関係団体・機関等と適切に連携し、福祉・介護・保健・医療等の一体的なサービス提供体制を推進します。

・各課が市民の身近な相談先となるよう職場環境づくりに努めるとともに、職員の相談支援技術を高め、市民のニーズに沿った切れ目ない支援の提供を目指します。

<課ごとの指導方針>

・福祉課

住み慣れた地域で自分らしく活躍できる共生社会の実現に向けて、部や課を越えた多職種連携や地域住民との協働による支援体制の充実に努める。

・高齢者支援課

高齢者が住み慣れた地域や本人が望む場所で、できる限り自立した生活を送り、たとえ介護や療養が必要となっても安心して自分らしい生活を送れるための仕組みづくりの推進とサービスの提供に努める。

・健康課

第2次丸亀市健康増進計画「健やかまるがめ21」を市民や関係機関とともに推進する。また、妊娠期から始まる切れ目ない支援を提供し、市民の健康づくり・疾病予防に努める。

・保険課

国民健康保険制度の県単位化に当たり、新制度における資格管理、保険給付、国保税の賦課・徴収、保健事業等の円滑な事業運営を図るとともに、医療費適正化を推進し、国保運営の安定化に努める。

平成30年度 各課の重点的取組

最終評価

部名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	評価 (進捗結果)	所見
福祉課	★障がい福祉計画等の円滑な実施。	●PDCAによる計画の点検及びサービス量の把握を行う。	○福祉施設から一般就労への移行者数:5	C	○12月13日に福祉推進委員会を開催し、今年度における計画推進の評価を行った。

(危機管理課、防災課、高齢者支援課)		<p>●就労移行支援等の障害福祉サービスを受けることができる体制づくりと各関係機関及び事業所との連携強化を進める。</p> <p>●災害時避難行動要支援者対策として、見守り活動等に必要個人情報共有化を図る。</p>	<p>人</p> <p>○情報の一元化が図られるよう関係部署と連携し、同意のあった要支援者情報を支援者等に提供。</p>	<p>C</p> <p>C</p>	<p>○就労移行支援等事業を利用して一般就労へ移行した人数 5人</p> <p>○コミュニティへの情報提供 コミュニティ数 17 対象者数 1,136人</p> <p>○丸亀市社会福祉協議会への情報提供 対象者数 1,136人</p>
福祉課	<p>★生活保護受給者、生活困窮者等のうち、稼働年齢層(15～64歳)で就労阻害要因(病気・介護・保育など)がない者のうち、就労できていない者の就労支援を積極的に行い、就労による経済的自立を促進する。</p>	<p>●平成28年度からスタートした「無料職業紹介事業」をさらに推進する。</p> <p>●ハローワーク・就労支援員との連携を強化し、就労支援による成果を目指す。</p>	<p>○支援対象者数 30人</p> <p>○就労者 15人</p> <p>○廃止(生活保護)+終結(生活困窮者) 10人</p>	<p>C</p>	<p>○実績値(平成31年2月末現在) 無料職業紹介登録企業数:8事業所 支援者数45人(生保22人 困窮23人) 就労者数30人(生保13人 困窮17人) 廃止終結5人(生保5人 困窮2人) ハローワークの職員が市役所に出向き就労支援員とともに月1回、出張相談を行っている。</p>
高齢者支援課	<p>★高齢者福祉計画および介護保険事業計画の円滑な実施 (在宅老人福祉サービスの充実) 【重点プロジェクト(No.44)】</p>	<p>●計画推進のための体制づくりとニーズにあったサービスが提供出来るように、市民からの意見聴取や関係機関、関係部署等との協議調整を行う。</p>	<p>○敬老事業のあり方について、アンケートを実施し検討する。 アンケート調査対象数:6,000人</p>	<p>C</p>	<p>○2月18日に福祉推進委員会を開催し、今年度における計画推進の評価を行った。</p> <p>○アンケート調査を実施 調査対象数:6000人</p> <p>○敬老会対象年齢引き上げ 80歳(経過措置あり)</p> <p>○敬老祝金の見直し 2019年度から88歳2万円、99歳3万円</p>
高齢者支援課	<p>★医療・介護連携の推進 【重点プロジェクト(No.43)】</p>	<p>●クラウドシステムを活用し、医療・介護情報の共有を図る。</p> <p>●クラウドシステムの愛称を公募し普及啓発を図る。</p>	<p>○医療介護情報共有システムへの登録者数 :500人(現状値:398)</p>	<p>C</p>	<p>○医療介護情報共有システムへの登録者数: 503人</p> <p>○情報共有の部屋:205室 (平成31年2月末現在)</p>

			人) ○情報共有の部屋: 200室(現状値:164 室)		
高齢者支援課	★生活支援体制整備事業の推進 【重点プロジェクト(No.45)】	●社会福祉協議会と協働で、各コミュニティで井戸端会議(地区協議会)を継続実施し、地域での互助の体制づくりを推進する。 ●地域の高齢者のニーズの把握と社会資源の発掘	○NPOや地縁組織などによる有償ボランティア組織の新規立ち上げ:3か所、継続支援:2か所	C	○コミュニティ5か所で話し合いの場を開催 ○今後、コーディネーターや協議体の設置に向けて取組を進めている。
高齢者支援課	★一般介護予防事業の充実 【重点プロジェクト(No.46)】	●「元気いっぱい！長生き体操」の実施を推奨し、地域づくりによる住民の自主的な介護予防を推進する。	○「元気いっぱい！長生き体操」実施場所数:35か所、参加実人数:400人	B	○「元気いっぱい！長生き体操」実施場所数:45か所、参加実人数:719人 (平成31年2月末現在)
健康課 (庁内会議関係20課)	★第2次丸亀市健康増進計画「健やかまるがめ21」を、市民とともに推進する。 ★食育による健康増進の実現 【重点プロジェクト(No.42)】	●保健医療推進会議、市民会議、庁内会議、食育ネットワーク会議等を開催すると共に、関係機関や、市民との連携・協働により、推進を行なう。 ●健幸10か条のうち、(1.いつもよりのんびりする 4.事故から身を守る 6.無理なく体を動かす)の項目を推進する。 ●食育ネットワーク会議において、関係団体・関係機関・関係部署が連携し、市民の食育推進のための啓発活動を実施する。	○全コミュニティ誌に健幸10か条1.4.6.の掲載を依頼し、周知・啓発 ○食育講演会の実施 1回	C	○健幸10か条1. 4.6について、コミュニティの会報、愛育だより、自治会回覧等に掲載を依頼し周知している。 掲載数：11コミュニティ 総会等での周知啓発：17コミュニティ ○食育ネットワーク主催の食育講演会を健幸の日に併せ開催。 参加者数：302人

<p>保険課 (税務課)</p>	<p>★国保税収納率の向上</p>	<p>●ペイジーを活用した口座振替の一層の推進、資格証明書・短期保険証発行及び居所不明者・社保離脱者の資格喪失手続等を実施する。</p>	<p>○現年一般分収納率 93.0%以上</p>	<p>C</p>	<p>現年一般分収納率 83.35% (平成31年2月末現在) ※前年同月比 +0.16%</p>
----------------------	-------------------	--	------------------------------	----------	---